

第 1 4 回議会報告会・意見交換会アンケートに対する回答

<質問>

報告事項は全読でなく、短くまとめていただいてわかりやすく説明報告をお願いしたい。

<回答>

議案の説明は、わかりやすく市民の皆様にお伝えすることが第一と考えております。説明方法等については、今後の実行委員会の中で検討させていただきます。

<質問>

参加市民の人数が少なかったですが、もっと増えるように創意工夫をしてみてください。（議会報告会）

<回答>

今回は約 30 人の市民の方にご参加いただきました。PRについては、区長会や婦人会等を通じて行っているほか、各議員も市民にPRしております。

参加者を増やすためのPR方法については、今後検討させていただきます。

<質問>

意見交換会中、西牧議員はあくびをしていた。非常にたるんでいる。

<回答>

大変申し訳ございませんでした。今後このようなことがないように議員一人ひとりが自覚を持った行動を心掛けます。

<質問>

政務調査費について議員の立て替え制にすべきです。（とりあえず議員が立て替えて領収証やレシートを事務局に提出し、後で歳費と一緒に振り込まれるようにすべきです）（兵庫県議の不祥事に鑑みて）

<回答>

現行では、「桐生市議会政務活動費の交付に関する条例」に定められているとおり、前もって交付を受けており、基本的にはすべての経費の領収証を添付し精算しております。ご意見の立て替え制につきましては、今後検討させていただきます。

また、桐生市議会議員の政務活動費については、本条例に基づき、会派又は会派に属していない議員に対して交付されており、条例第 6 条の用途基準

にしたがって使用するものとし、市政に関する調査研究に資するため必要な経費以外のものに充ててはならないことが規定されております。さらに、第7条では、会派に経理責任者を置き、交付された政務活動費の保管状況を常に明確にするため必要な会計帳簿を備え、支出した時は領収書を徴さなければならぬこととなっております。これらの規定に基づき適正な執行をしております。

<質問>

来年、消費税が10%に増税されますが、桐生の議会で政府に反対意見書を提出してください。これ以上の増税は生活が苦しくなってしまいます。

<回答>

消費税については、平成26年4月に8%に増税され、来年(27年)10月には10%に増税される予定でしたが、景気低迷の影響等により、国では1年半延期し平成29年4月に増税を予定しております。

反対意見書の提出については、今後の動向を見る中で、議会として国に対して意見書を提出した方がよいという判断がなされた場合に提出することになりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

<質問>

一戸建て型の市営住宅を多数建設し、安い賃料で貸せばよいと思います。

<回答>

現段階では市営住宅を新たに建設する計画はありませんが、ご意見は所管する都市整備部にお伝えいたします。

<質問>

桐生市内にもみどり市のようなデマンドバスや乗り合いタクシー、電話でバスを運行させるべきです。おりひめバスは空気を運んでいるようなものです。

<回答>

おりひめバスを含む公共交通は、市民にとりまして大変重要な交通機関です。おりひめバスにつきましては、所管部局から見直しの方針及び平成27年4月1日からの新たな運行計画が示されたところであります。

<質問>

赤字ローカル線であるわたらせ渓谷鉄道の廃止を検討すべきであると思います。財政難の折、これ以上の税金の投入は難しいのではないのでしょうか。

<回答>

桐生市にとりましてわたらせ渓谷鉄道は重要な公共交通機関です。特に交通

弱者をはじめ沿線住民にとってはなくてはならない貴重な足として重要な役割を果たしています。

市及び市議会は、今後もわたらせ渓谷鉄道に対する支援を継続してまいります。ご意見は所管する総合政策部にお伝えいたします。

<質問>

前橋、太田、伊勢崎への早道の一般道の建設をしてほしいです。

<回答>

ご意見については、所管する都市整備部にお伝えいたします。

<質問>

子どもの産める年代の若い女性を桐生から転出させないように桐生で子どもを産ませて子育てをさせるべきです。

<回答>

桐生市では、平成 26 年度から子育て世代をターゲットとした住宅取得応援事業をスタートし、住宅取得費用の一部を補助することにより、市外からの転入促進、市外への転出抑制を図っております。

また、子育て環境の充実については、議会としても機会あるごとに当局へ働きかけております。

<質問>

来春は改選ですが、改選後も議会報告会を続けてほしいです。

<回答>

現段階では改選後も継続する方向で考えております。

<質問>

桐生図書館の男性職員の接客態度が良くないです。きちんとした接客態度をさせるべきです。

<回答>

ご指摘については、所管する教育委員会管理部へお伝えさせていただきます。

<質問>

来春の改選（選挙時）では、全候補者が宣伝カーの使用を控えてみるべきと思います。騒音対策でもありますし、市の負担するガソリン代の節約にもなります。このような地味に実施するのもよいと思います。

<回答>

ご意見は来春の選挙に立候補される方に対するものでありますので、議会全体として回答することは困難でありますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

<質問>

合併特別委員会の設置をしたらと思います。

<回答>

現在、市議会の中に地域政策調査特別委員会が設置されており、そこで合併についての調査研究を行っておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

なお、平成 26 年 12 月 19 日に「桐生・みどり新市建設研究会」が設置されました。

<質問>

かなり以前に桐生の議会の議員控室や本会議場や正副議長室を市民に自由に見学させ各議員と交流してもらうというイベントがありましたが、来春の改選時の前には是非実施してみたらと思います。このイベントは日曜日に行っていました。

<回答>

市議会では、市制施行 80 周年・水道創設 70 周年記念行事として、平成 13 年 11 月 11 日（日）に議事堂内（本会議場、議員控室等）を市民に公開し、議員とのふれあい交歓、市議会資料の展示、議長席での記念撮影などを実施しました。今後の開催については検討させていただきます。

<質問>

若い人がどんどん桐生に住んでもらいたい。産業を大いに呼び込んで。

<質問>

若い人達が安心して働ける場が少ないのが人口減少の要因ではないか？

<回答>

桐生市では、特に若者の人口減少率が顕著であります。市議会では人口減少問題の解決に向け、平成 25 年 6 月に地域政策調査特別委員会を設置し、若者に対する子育て、教育、住宅のほか、企業との連携など雇用・産業分野についても研究し、その成果を提言書としてまとめ平成 26 年 9 月に市長へ提出いたしました。提言書については、市ホームページ、各公民館等でご覧いただけま

すのでぜひご覧ください。

<質問>

ふるさと納税制度の活用について、桐生市内に親を残し、都会で暮らしている子どもが多くなっている。ふるさと納税を指定して、福祉関係に寄付してほしい旨指導してほしい。

<回答>

ご意見については、所管する総合政策部にお伝えいたします。

<質問>

桐生市は自治会制度（区長制度）が確立されていない。近隣の市と格差がある。合併問題の温度差があるといわれる一因ではないか。（区長報酬が少なすぎる）

<回答>

ご意見については、自治会を所管する市民生活部及び合併問題を所管する総合政策部にお伝えいたします。

<質問>

市は自主防災会の組織促進をしているが、指導や補助金交付が無いのは他市に比較して寂しい限りだ。これも温度差ではないか。

<回答>

ご意見については、所管する総務部にお伝えいたします。

<質問>

北中の校舎はどうなっているか。

<回答>

校庭については、社会体育等のために利用されておりますが、校舎については利用されていません。将来的には群馬大学関連施設としての利用の方向性が出ておりますが、現在のところ具体的な動きはありません。

<質問>

全国的に墓地の問題が出ているが、これからの桐生市も一考をと思う。核家族が大変多いのでこのような考えを持っている方もいると思う。

<質問>

市営共同墓地を考えてほしい。核家族化で必要としている家族がますます多くなると思う。

<回答>

墓地に関しては、平成 26 年 4 月に市民の方から「公設の共同墓地の設置に関する陳情」が提出され、教育民生委員協議会の中で審査し、委員の賛成多数をもって採択されました。今後、市の担当部局において公設の共同墓地の設置に向けた取り組みを行っていくよう、議会としても積極的に働きかけていきたいと考えております。